

2023年4月5日

当社は環境省が事務局として進める 「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」に参画します

2023年3月23日（木）、東京電力福島第一原子力発電所事故の避難12市町村の自治体や民間事業者などが脱炭素社会の実現と復興を目的とした「脱炭素×復興まちづくりプラットフォーム」（事務局：環境省）を設立しました。当社は本プラットフォームの設立に参画し、自治体や参画企業、そして地域の皆さんと脱炭素社会と復興に向けた活動を開始することとなります。

東日本大震災による原発事故の発生によって、原子力発電所が立地する大熊町・双葉町を含む福島県浜通りの被災地（避難12市町村）等においては、長期間の避難や復興の遅れなど大きな被害が生じています。現在、帰還困難区域の一部を除いた地域で除染作業が完了しており、復興拠点を含めたインフラ整備が進められています。地域を復興・再生していく「まちづくり」の取組に当たっては、「2050年カーボンニュートラルの実現」が国によって宣言されているとおり、脱炭素化を同時に進めていくことが必要です。

3月23日に福島県大熊町で開催された設立総会には当社も参加し、基調講演を通じて参加者は改めて設立の趣旨を確認しました。総会後半に行われた意見交換会では、「資源循環型農業・バイオ発電」および「地域還元型電源開発」のテーマに農業関連組織や大学教授、ゼネコン関係など民間事業者の方々と共にどのような技術を活用できるか、避難12市町村における新たな再生可能エネルギー導入ポテンシャルや導入に対しての問題点などについて議論を行うことができました。

今後は年2回開催予定の全体総会への参加と内容に応じた個別ワーキンググループに参画し、事業化を進める予定です。

当社は今後も技術向上を図り、地域社会と連携しながら脱炭素社会の実現に貢献して参ります。

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
TEL:03-5246-4150
URL:<https://www.atk-eng.jp/>
経営管理本部 吉田